

# あさひ議会だより

37号  
平成27年  
6月1日  
発行



## おもな内容

議案の内容と審査結果	2～5
第1回定例会の日程	3
主な議案質疑	6・7
陳情の審査結果	6
一般質問	8～13
常任委員会の審査	14・15
議長のうごき	16

## 川口沼親水公園

例年、6月中旬頃から下旬にかけて、ハナショウブが咲き誇ります

限られた財源の重点的・効率的な配分を  
市民福祉の向上に努め、一体性の確立及び均衡ある発展を目指す

平成27年度

一般会計予算273億8,000万円

予算総額は842億6,011万6,000円

第1回定例会のあらまし

平成27年第1回定例会が、2月27日から3月20日までの22日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成27年度各会計予算、平成26年度の各会計補正予算、条例の制定・一部改正など39議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

3月6・9・10日には一般質問が行われ、11人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

また、最終日の20日には、議会運営委員会委員長から1件の発議案が提出され、全員賛成で原案のとおり可決されました。

### 議案の内容と審査結果

#### 当初予算

(平成27年度)

5・4%の減です。

歳入の主なものは、地方交付

税89億円、市税70億299万円、

国庫支出金28億528万円、市

債26億7,390万円、県支出

金15億9,978万円です。

歳出の主なものは、民生費84

億6,771万円、総務費33億

7,629万3,000円、教育

#### 議案第2号

平成27年度旭市国民健康保険事

業特別会計予算の議決について

(可決)

\*事業勘定の予算規模は、歳入

歳出それぞれ104億200万

費32億7,981万3,000円、

公債費29億9,936万9,00

0円、土木費23億5,759万

3,000円、諸支出金24億9,

635万2,000円です。

円、施設勘定の予算規模はそれ

ぞれ8,700万円です。

歳入の主なものは、保険税25

億5,023万7,000円、国

庫支出金22億7,101万6,0

00円、前期高齢者交付金13億



## 第1回定例会の日程

2月27日(金) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 施政方針並びに提案理由の説明
- 議案の補足説明

3月3日(火)

- 議案の質疑
- 常任委員会へ議案・陳情を付託

3月6日(金)

- 市政に関する一般質問

3月9日(月)

- 市政に関する一般質問

3月10日(火)

- 市政に関する一般質問

◇追加日程

- 議案の上程
- 議案の提案理由及び補足説明
- 議案質疑
- 常任委員会へ議案を付託

3月12日(木)

- 建設経済常任委員会

3月16日(月)

- 文教福祉常任委員会

3月17日(火)

- 総務常任委員会

3月20日(金)

- 常任委員長の議案報告

<質疑・討論・採決>

- 常任委員長の陳情報告

<質疑・討論・採決>

◇追加日程

- 発議案の上程
- 提案理由の説明
- <質疑・討論・採決>
- 事務報告

(閉会)

### ■議案第8号

平成27年度旭市病院事業会計予算の議決について (可決)

病院の入院患者数を26万7,

※収益的収入及び支出 事業に  
関する収支  
※資本的収入及び支出 施設整  
備に関する収支  
※過年度分損益勘定留保資金  
当該年度以前の損益勘定留保  
資金のことで、損益勘定留保  
資金とは、当年度における現  
金の支出を必要としない費用  
具体的には減価償却費などの  
計上により留保される資金を  
いう。

3,519万7,000円です。  
歳出の主なものは、保険給付  
費55億122万円、後期高齢者  
支援金13億7,605万6,00  
0円、介護納付金6億2,41  
7万3,000円です。  
※事業勘定 事業(国保事業に  
関する会計)  
※施設勘定 市が直営する施設  
(滝郷診療所)に関する会計

### ■議案第3号

平成27年度旭市後期高齢者医療  
特別会計予算の議決について  
(可決)

予算規模は、歳入歳出それぞ  
れ5億1,300万円です。  
歳入の主なものは、保険料3  
億4,518万4,000円、一  
般会計繰入金1億6,044万  
4,000円です。

### ■議案第5号

平成27年度旭市介護保険事業特  
別会計予算の議決について  
(可決)

予算規模は、歳入歳出それぞ  
れ46億1,200万円です。  
歳入の主なものは、保険料9  
億5,757万3,000円、国  
庫支出金10億8,490万3,0  
00円、支払基金交付金12億5,  
721万円、県支出金6億7,  
016万1,000円、一般会  
計繰入金5億6,023万2,0  
00円です。

### ■議案第6号

平成27年度旭市農業集落排水事  
業特別会計予算の議決について  
(可決)

予算規模は、歳入歳出それぞ  
れ5,230万円です。  
歳入の主なものは、使用料及

### ■議案第7号

平成27年度旭市水道事業会計予  
算の議決について (可決)

業務の予定量で、給水件数を  
1万9,530件、年間給水量  
を579万977m<sup>3</sup>、収益的収  
入及び支出において、収入に15  
億3,662万5,000円、支  
出に14億5,459万4,000  
円を計上し、収益的収支差引8,  
203万1,000円を予定し  
ました。  
また、資本的収入及び支出に  
ついては、収入に1億333  
万1,000円、支出に2億5,



旭市水道お客様センター

100人、外来患者数を64万2,900人と見込み、収益的収入及び支出において、収入に360億7,035万7,000円、支出に357億3,181万円を計上し、当年度純利益3億3,854万7,000円を予定しました。

また、資本的収入及び支出については、収入に2億108万1,000円、支出に31億6,521万6,000円を計上し、

収支不足額29億6,413万5,000円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。

## 補正予算

(平成26年度)

### ■議案第9号

平成26年度旭市一般会計補正予算(第5号)の議決について

(可決)

歳入歳出にそれぞれ10億860万円を追加し、予算の総額を311億6,670万円とするものです。

歳出の主な内容は、庁舎整備基金積立金3億円、東日本大震災復興交付金基金積立金4億8,841万9,000円などを

増額し、退職手当負担金2億9,693万4,000円を人事管理費より減額して総務費全体で6億1,430万4,000円を増額し、商店街振興事業補助金として商工振興費1億2,173万8,000円を増額し、病院事業会計繰出金として病院事業公営企業費に2億1,356万6,000円を増額するものです。

### ■議案第39号

平成26年度旭市一般会計補正予算(第6号)の議決について

(可決)

歳入歳出にそれぞれ8,720万円を追加し、予算の総額を312億5,390万円とするものです。

歳出の主な内容は、総務費に地方創生先行型事業5,881万4,000円を、衛生費に妊娠・出産包括的支援事業573万7,000円を、商工費に観光振興事業5,881万4,000円を増額するものです。

### ■議案第10号

平成26年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について

(可決)

事業勘定の歳入歳出にそれぞれ9,910万円を増額し、予算の総額を93億9,110万円とするものです。

歳出の主な内容は、平成25年度分の療養給付費等負担金の精算及び過年度分の特別調整交付金の修正に係る返還金として償還金を9,744万円を追加し、財政調整交付金として措置された、103万7,000円を中央病院に繰り出すものです。

### ■議案第11号

平成26年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について

(可決)

歳入歳出にそれぞれ6,700万円を追加し、予算の総額を46億9,200万円とするものです。

歳出の主な内容は介護保険給付費準備基金積立金2,410万6,000円を追加し、償還金4,289万4,000円を増加するものです。

### ■議案第12号

平成26年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算の議決について

(可決)

歳入歳出にそれぞれ84万円を

追加し、予算の総額を5,624万円とするものです。

### ■議案第13号

平成26年度旭市病院事業会計補正予算の議決について

(可決)

収益的収支予定額の補正で、病院事業収益既決予定額372億7,479万4,000円に2億1,356万6,000円を増額するものです。

## 条例の制定・一部改正

### ■議案第14号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院評価委員会条例の制定について

(可決)

旭中央病院の経営形態を地方独立行政法人へ移行するにあたり評価委員会を設置するため、条例を制定するものです。

### ■議案第15号

旭市看護学生入学支度金貸付条例の制定について

(可決)

旭市内の医療機関に従事する看護師を確保するにあたり看護学生入学支度金貸付制度を創設するため、条例を制定するものです。

### ■議案第16号

旭市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例及び勤務時間等に関する条例の制定について

(可決)

### ■議案第17号

旭市立保育所条例の制定について

(可決)

### ■議案第18号

旭市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の制定について

(可決)

### ■議案第19号

旭市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

(可決)

### ■議案第20号

旭市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

(可決)

### ■議案第21号

旭市行政組織条例の一部を改正

する条例の制定について(可決)

■議案第22号

旭市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第23号

旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第24号

旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第25号

旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第26号

旭市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第27号

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第28号

旭市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第29号

旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第30号

旭市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第31号

旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■議案第32号

旭市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(可決)



遊具を撤去し廃止した塙東西児童遊園の現在

■議案第33号

旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

旭市塙1399番地に設置されている塙東西児童遊園は、利用児童数の減少と遊具の老朽化に加え、地元からの要望もあることから、廃止するものです。

■議案第34号

旭市育英資金給付条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

議員提出議案

■発議第1号

旭市議会委員会条例の一部を改

正する条例の制定について(可決)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律と併せ、地方自治法第121条が改正されたため、所要の改正と文言の整理を行うものです。

その他の議案

■議案第35号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款を定めることについて(可決)

旭中央病院の経営形態を地方独立行政法人へ移行するために定款を定めるものです。

■議案第36号

指定管理者の指定について(可決)

社会福祉法人旭市社会福祉協議会を海上ふれあいサポートセンターの指定管理者として指定するものです。

■議案第37号

指定管理者の指定について(可決)

社会福祉法人旭市社会福祉協



指定管理の海上ふれあいサポートセンター



指定管理の飯岡福祉センター

■議案第38号

市道路線の認定について(可決)

議会を飯岡福祉センターの指定管理者として指定するものです。

# 主な議案質疑



観光案内板を設置予定の大原幽学遺跡駐車場

## ■議案第1号

平成27年度旭市一般会計予算の議決について

**問** 千葉県観光地魅力アップ整備事業補助金の具体的な内容を伺いたい。(伊藤保議員)

**答** 観光案内板等の設置を3か所予定しており、一つは道の駅の施設内にタッチパネル式の情報発信板の設置、さらに同施設駐車場に照明つきの観光案内板の設置、さらに大原幽学遺跡史跡公園の駐車場に観光案内板の設置を計画しています。

**問** 市民まちづくり活動支援事業の説明を求めます。

(伊藤保議員)

**答** 自主的で創意あふれる事業を行う団体に対して補助金を交付するものです。

**問** 母子家庭高等技術訓練給付金の具体的な内容を伺います。(伊藤保議員)

**答** 児童扶養手当受給者、または同様の所得水準にあると認められる母子家庭の母、父子家庭の父を対象者として、看護師、介護福祉士、保育士などの資格を取得するために養成機関へ就学した際、利用者負担額の一部を訓練給付費として支給する制度です。

**問** 企画費の委託料で、コンサルティング業務委託料及び総合計画策定支援業務委託料の詳細についてお尋ねします。(高橋利彦議員)

**答** コンサルティング委託料は、旭中央病院の地方独立行政法人化のための支援業務に関する委託料です。

総合計画策定支援業務委託料については、平成29年からを計

画期間とする総合計画の策定に向け、市民意識調査などの基礎調査を行うものです。

**問** 公園の管理は、いろいろな課にまたがっているが1か所で扱えないのか。

公園の維持管理費は全体でどのくらいかかっているのか。(高橋利彦議員)

**答** 公園管理の法令の違いなどがあり、現時点ではまだ一元化できていません。

25年度の数字で維持管理費は全体で約1億円です。

**問** 災害に強い地域づくり事業で、地域防災計画の見直し業務委託料の詳細についてお尋ねします。(高橋利彦議員)

**答** 改正された災害対策基本法など各種法令や旭市国土強靱化地域計画、また昨今の災害の状況等を踏まえ、見直しをするものです。

**問** 雇用促進住宅は入居率が悪く、ある程度条件を変えた中で入居してもらったほうが良いと思うが、今後どうしていくのか。(高橋利彦議員)

雇用促進住宅は入居率が悪く、ある程度条件を変えた中で入居してもらったほうが良いと思うが、今後どうしていくのか。(高橋利彦議員)



入居者を募集している雇用促進住宅

**答** 入居要件が一般の市営住宅に比べて厳しいということがありますが、募集については広報等を通じてPRしていきたいと考えています。

## ■議案第7号

平成27年度旭市水道事業会計予算の議決について

**問** 海上配水場増池事業は、基準に満たないということですが、市内4か所の配水場の基準はどのようになっているのか。(伊藤保議員)

**答** 配水場の基準について、飯岡配水場は必要容量を満たしているが、旭配水場、海上配水場、干潟配水場においては必要容量を満たしていないので、



干潟地区にある配水場

まず、海上配水場を増池します。

**問** 水道料金が非常に高いという声があるが、見直しはできないか。(伊藤保議員)

**答** これからは、更新需要の増加が見込まれるので、それ

## 陳情の審査結果

第1回定例会では、陳情1件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
陳情第1号	慰安婦問題等に関して正しい歴史教育を行うことを求める陳情	不採択

らの建設改良費に充てていきま  
す。

■議案第8号

平成27年度旭市病院事業会計予  
算の議決について

**問** 医療器械整備事業について、  
なぜ借り入れをしなければ  
ならないのか。(高橋利彦議員)

**答** 医療器械の購入は、その制  
度的な融資の中で規定に該  
当すれば普通交付税の算定対象  
になるということで、借り入れ  
を起こしたほうが有利になるこ  
とから設定したものです。

**問** 給与費及び経費が毎年上  
がっているが、この内容に  
ついてお尋ねします。

(高橋利彦議員)

**答** 医師が14名、リハビリ医師  
が8名、検査技師が7名増  
え、そのほか看護師の待遇改善  
のためによる増です。

■議案第9号

平成26年度旭市一般会計補正予  
算(第5号)の議決について

**問** 乳幼児紙おむつ給付事業の  
給付対象者数の26年度の見  
込み数と27年度の見込み数を伺  
います。(伊藤保議員)

**答** 26年度、27年度ともに1、  
010名を見込んでいます。

■議案第14号

商店街振興事業補助金の助  
成金額について、1人当た  
りの限度額はどのぐらいなの  
かお聞きします。(伊藤保議員)

**答** 今回出すプレミアム付商品  
券は、1人当たり5セツト  
まで。ただし、1世帯当たり、  
10セツトを上限としたいと考  
えています。

※1セツト1万円(1万3,0  
00円相当)

**問** 地方独立行政法人総合病院国保  
旭中央病院評価委員会条例の制  
定について

**問** 評価委員会の役割について  
詳しく説明願いたい。また、  
開催の時期や回数及び会議は公  
開されるのかどうか。

(島田和雄議員)

**答** 役割は、地方独立行政法人  
の業務、実績に関する評価  
に関する事。そのほか、業務  
方法書に対し市長が認可する際  
の意見を求めること。

中期目標、中期計画の作成、  
変更の際に意見を求めること。  
各事業年度における業務実績  
の評価結果を踏まえた法人に対

する業務運営の改善勧告などが  
あります。

■議案第15号

旭市看護学生入学支度金貸付条  
例の制定について

**問** 貸付の対象者は、全国の看  
護学生か。また、貸付額及  
び貸し付ける人数の算定根拠に  
ついて伺いたい。

**問** 評価委員会の人選について、  
どのような方々をどのよう  
な形で選任していくのか。

(太田将範議員)

**答** 先行事例等を含め、専門家の  
意見を聞きながら、人選に  
ついては進めていきたいと考  
えています。

**答** 対象者は、全国を対象とし  
ます。

支度金の根拠は、先進地のさ  
らぬ医療センター、東千葉メ

対象者は、全国を対象とし  
ます。



看護専門学校で学ぶ学生

**答** 役員の任命権については、  
地方独立行政法人法第14条  
に規定されているため、本定款  
には記載していません。

利害関係人の理事会からの排  
除に関する規定に関しては、全  
国的にこの規定を持っている法  
人は少ないため、必要がないの  
であろうという判断で、規定を  
していません。

**問** 定款はシンプルな中身の運  
営形態しか出ていないが、  
自治体病院の倫理とか、中央病  
院の理念というようなことにつ  
いて、考え方として担保されて  
いるのか。(太田将範議員)

デイカルセンターの水準を参考  
とし、旭中央病院の奨学金制度  
との関係も勘案して算定をいた  
しました。

対象人数は、市内で奨学金を  
利用している学生の人数から算  
定いたしました。

**答** 定款の第1条で、この独立  
行政法人は、地方独立行政  
法人法に基づき地域の中核的な  
基幹病院として救急医療、高度  
急性期医療を初めとする医療、  
介護及び福祉の提供、医療に関  
する研究、研修等を行うことも  
に、他の医療機関及び市と連携  
をして、市民を初めとする地域  
住民の健康の維持及び増進に寄  
与することを目的としています。

これにより、定款と自治体病  
院の倫理綱領との整合性につい  
ては問題ないものと考えます。

**問** 役員任命権について、明記  
されていないが、どうして  
記載がないのか。また、利害関  
係者規定については今後、法人  
の規定、あるいは理事会の運営  
規則などで定めることとなるの  
か。(高橋秀典議員)

役員任命権については、明記  
されていないが、どうして  
記載がないのか。また、利害関  
係者規定については今後、法人  
の規定、あるいは理事会の運営  
規則などで定めることとなるの  
か。

# 一般質問

市政に関する一般質問は3月6・9・10日の3日間行われ、11人の議員が登壇しました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 財政



現在休止している籾木の農村環境改善センター

ります。公共施設の統廃合による維持管理費の削減は、実績として1300万円余り、計画では1億9200万円余りで、合計は約2億500万円余りの削減となります。その他、業務の民間委託による削減効果額として1000万円を見込んでおり、合計では16億1000万円余りの削減効果になるものと考えています。

## 旭中央病院

### 実質赤字では

(高橋利彦議員)

**問** 25年度決算上は8億円余りの黒字を出しています。しかし、これは単年度加入の特別利益などのため、これがなければ、逆に莫大な赤字になっていたわけですが、前年と比較し、大きな差異のあった項目と額についてお尋ねします。

**答** 給料、手当、賃金で、前年よりも6億5000万円ほど増加しています。その他

前年比増加額が多い項目として、材料費が5億3000万円、開発費・償却費が2億円、委託費

が9000万円、光熱費が8000万円増加しています。

### 担当部署の設置を

(高橋秀典議員)

**問** 地方公営企業法全部適用から独法化の流れの中で、現状は明確な病院担当部署がありませんでした。行政サイドに病院への窓口機能を作ったうえで、密な連絡調整や積極的な情報開示が必要と思いますがいかがでしょうか。

**答** 今、独法化に移行手続き中であるので、そのことの担当部署、病院班というものを作って病院側また行政側、職員をそこに集中させて連携を図っていきたいと考えています。

### 独法化で何が変わるのか

(林七巳議員)

**問** 独立行政法人になると、今までとどのように変わるのかお聞きします。

**答** 医師、看護師等の医療スタッフの確保において、地方公務員法の制約がなく

## 一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



高橋 利彦  
議員

- 1 行財政について
- 2 中央病院について



高橋 秀典  
議員

- 1 旭中央病院の独立行政法人化について
- 2 旭中央病院の看護師について
- 3 公立小・中学校の適正な規模と配置について
- 4 教育・人づくりに関するビジョンについて
- 5 小規模事業者支援策について



林 七巳  
議員

- 1 旭中央病院について

### 行政改革の効果は

(高橋利彦議員)

**問** 合併による交付金の特典も今年27年が最終年度で、これから毎年四、五億円ずつ削減されて、5年後には約18億円が削減されます。そこで、現状での行政改革による削減額と内容、また今後の年度ごとの計画額と内容について伺います。

**答** 人件費について削減額は11億8400万円余り、今後の削減見込額は2億1500万円、合計14億円の削減とな

なり、勤務体系や給与体系の柔軟化から、より容易性が増すこと、単年度予算による統制が中期目標・中期計画による統制に変わり、経営の柔軟性が増すこと、目まぐるしく変遷する国の医療政策への迅速な対応がより容易になること、評価委員会による適正な業務評価とその公開による透明性の確保がされることなどが挙げられます。

## 独法化後の各福祉施設の経営は

(林七巳議員)

**問** 特別養護老人ホーム及び養護老人ホームは、独立



中央病院が運営するシルバーケアセンター



中央病院で働く看護師

行政法人化した場合、このまま経営できるのか。

**答** 各福祉施設、病院が行っているシルバーケア、老人ホーム、ケアハウス等は県の許可及び届出等により認可を得ている内容で、継続的にこれは引き継ぐものです。

人ホーム、ケアハウス等は県の許可及び届出等により認可を得ている内容で、継続的にこれは引き継ぐものです。

## 独法化と

看護師確保の関係は

(島田和雄議員)

**問** 独法化は職員が公務員から非公務員に変わります。このことが看護師確保にどのような影響があると予想されているか、伺います。

**答** 今回病院が独法化しても、市が設置する公的病院と

今回の性格は変わりません。それから共済組合へは加入継続となります。退職金についてもこれまでと同水準を想定しており、独法化することで現在より待遇が悪くなることのない旨を繰り返し説明し、看護師のみならず職員全体の不安を取り除いていきたいと考えています。

## 地域医療計画と病院改革プランの関係は

(太田将範議員)

**問** 香取海匠医療圏の地域医療計画の作成が義務づけられます。また、公立病院改革プランが今年の3月で終わりに

なり、新しい計画を作らなければならぬが、この整合性は。

**答** 県は、地域医療計画において地域医療構想を27年度中に策定することになっていきます。

公立病院改革プランについても、総務省が地域医療構想と連携しつつ今年度末までに新ガイドラインを作成することとなっています。新しい改革プランについては、地域医療構想が策定されてから内容を決定していくことになるかと考えられます。

病院としては、地域医療構想策定のための調整会議の場において、当院が受け持っている市民病院としての役割と急性期病院としての機能について、今後その機能が損なわれないような形になるよう主張していきたくないと考えています。

※急性期病院 急性疾患や慢性疾患の急性増悪などで緊急・重症な状態にある患者に対して入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する病院のこと

## 病院事業管理者の考えは

(林晴道議員)

**問** 病院は開院以来の黒字経営で、旭市が全国に誇る優良病院であり、本市一般会計



太田 将範 議員

- 1 市道路行政について
- 2 税金、国保税、公共料金等の減免制度について
- 3 医療介護総合推進法について



有田 恵子 議員

- 1 いいおか荘の貸し付けについて
- 2 道の駅季菜里あさひについて
- 3 水道事業について
- 4 袋公園用地売買契約について
- 5 旭中央病院について
- 6 三川蛇園線整備事業について



飯嶋 正利 議員

- 1 都市計画について
- 2 防災について
- 3 保育所について



国保旭中央病院外観

## 教育

### 小規模校の今後については

(高橋秀典議員)

#### 問

文部科学省から公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きが通知されました。

小規模校のデメリットを解消する目的で、統廃合の目安となる学校規模を示すとともに、小規模校として存続する場合は何らかの措置をすべきとしています。現時点で市としてどのように考えてでしょうか。

#### 答

学校規模の適正化の検討にあたっては、児童・生徒にとつて望ましい教育条件の整備という視点が最も大切にされなければなりません。同時に学校は児童・生徒のための施設であるだけでなく、学校を核とした地域のコミュニティの形成、防災避難所、体育館の夜間・休日開放によるスポーツ活動など、さまざまな機能を持っています。将来の児童・生徒数の予測を行った上で、市長と教育委員会が組織される総合教育会議など

で緊密な連携を取りながら考えていきます。

## 道路

### 危険箇所、修繕等の対応は

(太田将範議員)

#### 問

市道をめぐる苦情が多発しています。改善要求は1200か所ほどであると聞いていますが、どのような状況になっているのか。

#### 答

市道の危険箇所、修繕等の通報や要望は、1か月当たり約70件から140件と非常に多く、建設課職員及び臨時作業員等で対応しています。職員等では対応し切れない規模の修繕や、危険回避のため緊急性の高い修繕等については、年間を通して道路舗装補修工事を委託しています。生活道路、危険箇所を優先して対応せざるを得ないため、場所によっては対応までに長期間を要してしまう場合もありますが、迅速な対応ができるように努めていきます。

## 費用対効果の算出を

(有田恵子議員)

#### 問

三川蛇園線整備事業は、社会資本整備総合交付金事業や合併特例債等、大きなお金25億円をあつた道路につき込むというような話ですが、費用対効果を出してください。

#### 答

費用対効果については、路線等の形態を変えるところで、交通量調査が再度必要になります。

また、トンネルの断面を縮小した概算工費をJRより算出してもらい、約14億円と報告させていただきました。この14億円という数字もまだ概算であること、またトンネル断面を縮小



建設中の三川蛇園線



林 晴道  
議員

- 1 病院事業について
- 2 市税収納について
- 3 環境対策について
- 4 救急出動について



滑川 公英  
議員

- 1 特区構想について
- 2 長熊釣堀センターについて



伊藤 保  
議員

- 1 消費者教育推進法について
- 2 市民に対する健康対策について
- 3 防災行政について



島田 和雄  
議員

- 1 地方創生について
- 2 基金について
- 3 看護師確保について
- 4 火災対策について

することに伴う交差点の再協議を調べた上で、トンネル工事費の再積算となるため費用対効果の分母となる費用分が算出できないことから、現時点での算出はできない状況です。

## 道の駅

### 赤字が出た場合の責任は

(有田恵子議員)

**問** 道の駅は第三セクターであっても、経営主体は株式会社で、市の直営ではありません。赤字になる対象を、道の駅の建物、内外での営利を目的



今秋オープン予定の道の駅「季楽里あさひ」

とした事業のことと限定させていただくと、赤字になった場合の責任は誰がとるのか。

**答** 開業初年度以外は、赤字は想定していません。

経営の責任については第三セクターが負うこととなりますが、会社法上では株式会社の出資者は有限責任となり、出資額を限度としての責任を負うことになります。

仮に経営が悪くなったとしても、すぐに財政支援を行うことではなく、まず経営の効率化・合理化の余地について検討し、速やかに取り組んでいただきたいと考えています。

## 都市計画

### 都市計画区域の見直しを

(飯嶋正利議員)

**問** マスタープランの中には、「現在、旭地区にのみ指定されている都市計画区域を市全域に拡大します」とあります。復興計画の中にも、「28年度を目標とする」ということが明記されております。

28年度に向けて策定ができるのかどうかお伺いします。

**答** 現在の都市計画区域における街路事業、公園事業及び下水道事業は、下水道事業認可期間の最終年度となる平成27年度をもって一つの区切りとなります。都市計画マスタープランの議論、バランスよい発展を改めて考え、これからのまちづくりを税の問題も含めながら



都市計画事業で整備した袋公園

考えていきたいと思っています。

## 防災

### 築山の整備予定は

(飯嶋正利議員)

**問** 今年度事業の当初予算において、市長より築山等の整備というお話が出ています。

今後の事業予定についてお伺いします。

**答** 新年度予算に津波避難施設となる築山の経費を計上させていただきました。矢指地区には避難施設となる高い建物がなく、500人以上の規模を想定した場合、盛土施設が妥当ではないかという考えに達しました。

盛土施設であれば、ふだんから解放することができ、有事の際はより多くの住民が避難できるものと考えています。築山という高台であれば、今後百年、二百年と後世まで残るような施設だと考えています。



宮澤 芳雄  
議員

- 1 出合いコンシェルジュについて
- 2 基金について
- 3 歳計現金について
- 4 自動車税の市役所窓口での納付について
- 5 防災について
- 6 消費者被害の対応について
- 7 旭市三郷構想について
- 8 地域公共交通について



救急出動に対応する消防本部

## 消防

### 効率的な救急出動を

(林晴道議員)

**問** 通報から医療機関等収容

所要時間は、県内平均43・7分のところ、本市は28・6分と県下断トツで、これは消

防本部の日ごろの訓練と旭中央病院の全症例受け入れにより、多くの命が救われています。

しかし、所要時間は伸びる傾向にあり、救急搬送人員の増加が要因の一つで、出動の半数は軽症と判断される不要不急の事案です。緊急性の高い事案に効率的に出動することでより多くの命が救われるので、その対応

についてお伺いいたします。

**答** 症状は軽微だが交通手段がないといった場合や定期的な通院等においてタクシーがわりに救急車を乗用することは控えていただくというのを市民にご理解いただくため、救急車の適正利用について広報紙や講習会等で啓蒙しています。

## 特区構想

### 医療特区の申請を

(滑川公英議員)

**問** 医療特区について、旭中央病院を核とした医療関連企業の誘致とか病院規制緩和についてどのように考えていますか。

**答** 旭中央病院周辺地区における医療を核とした拠点の形成について検討しているところです。道の駅のオープンも見据え、地方創生先行型交付金を活用しながら、医療・交流・食の三郷構想として進めていきたいと考えています。この構想を進めていく間に法の規制等の障害が見えてきたときには医療特区の認定なども視野に入れて

いくことになると考えます。

### 農業特区の申請を

(滑川公英議員)

**問** 昨年4月より、農業振興地域内の除外申請は500平米以内を除いてほとんど凍結状態になっています。昨年の一般質問で、土地利用については農業特区を検討すると市長が発言しています。地域限定ないしは旭市全域の特区申請をすべきと思いますがどうお考えですか。

**答** 全国各地の取組を確認しました。農業等の規制緩和による改革で農業の担い手確保や産業競争力の強化によって、地域経済の活性化につながるためのさまざまな取組が全国で行われています。旭市については農地も広大であり、基幹産業ですので農業の活性化には何が必要なのか、他の市町村の事例を参考にして旭市の内容に合った特区とは何か考えていきたいと思っています。

※特区 実情に合わなくなった国の規制について、地域を限定して改革することにより、地域を活性化させることを目的とする構造改革特区と、産業の国際競争力を強化し、国

際的な経済活動の拠点の形成を促進するため、国が定めた区域において、規制改革等の施策を集中的に推進する国家戦略特区がある

## 消費者行政

### 消費生活センターの取組は

(伊藤保議員)

**問** 旭市の消費生活センター設置の経緯と取組について、相談件数と年齢層についてお聞きいたします。

**答** 消費生活センターは青年の家の1階、商工観光課



消費生活センターを設置する青年の家

の事務所の中に設置をしていますが、国の消費者行政強化を受け、市民が消費者被害に遭った時にいつでも専門的見地に基づく相談、救済を受けられるような窓口を整備しようということ、平成23年4月に設置して現在に至っています。

平成25年度は433件の相談があり、相談者の年齢別件数は60歳以上が最も多く159件、全体の37%を占めています。また未成年を含む20歳までの件数が42件で、全体の約1割です。

## 健康

### 胃がんの予防対策を

(伊藤保議員)

**問** 2012年がん対策推進基本計画にピロリ菌除菌が追加されたことから、胃がんリスク健診などの新たな予防対策を模索していかなければならないと考えていますが、ピロリ菌除菌を胃がんの予防対策として考えた場合の費用について伺います。

**答** 除菌の費用は医療機関あるいは検査方法で異なり

ますが、胃カメラ、血液検査、除菌治療を実施して、健康保険が適用されると、3割の自己負担で約1万5000円くらいと思われれます。胃潰瘍、十二指腸潰瘍、慢性胃炎等の五つの疾患が保険適用の対象で、これらの疾患の患者として医師が診断しなければならぬという基本条件があります。

## 地方創生

### 地方創生の具体的な中身は

(島田和雄議員)

**問** 地方創生について、国から市に示されているものはどのような内容か、また市はどのようにこれに取り組んでいくか伺います。

**答** 国より2060年に1億人程度の人口を維持することを目指した長期ビジョンを基に今後5か年の施策の方向

性を提示する総合戦略が示され、市町村にも努力義務として策定が求められているところで、市の取組について旭市総合戦略会議を設置し、計画を平成27年度中頃までに策定していきたいと思っています。平成27年度早々から着手する人口ビジョンにおいて、社会動態を含む人口の現状など、どのように変化してきたものか、その要因はどのようなものであったか等を今後分析する予定です。

## 婚活

### 出会いコンシェルジュの成果は

(宮澤芳雄議員)

**問** 出会いコンシェルジュの方針についてお尋ねします。

**答** 平成25年度は、婚活パーティーや婚活セミナー等のイベントを13回実施し、286人の参加がありました。また、平成26年度は11回実施し、241人の参加がありました。基本的には、毎月1回程度の開催を目標に実施し、一般の方の募集

## 三郷構想

### 交流事業の実施を

(宮澤芳雄議員)

**問** 三郷構想における交流事業において、以前は市外や東京都からも参加をいただき

を市の広報誌やホームページ、雑誌等に掲載しています。今後は、近隣の市町との合同企画を積極的に実施しながら、一人でも多くの方がこの出会いコンシェルジュを通じて結婚につながる、人口減少に歯止めがかかるよう努力していきたいと思っています。

少年野球大会を実施していたこともあります。市内、市外を問わず、未来ある青少年に感動を与えるような事業を数多く計画、実施していただきたいが。

**答** 現在、野球大会はやっていませんが、向太陽杯パークゴルフ大会やしおさいマラソン大会、ママさんバレーボール大会など、スポーツ交流は継続して行っています。

また、本年8月に市のソフトボール協会主催の関東小学生男女ソフトボール大会が、市内の施設を利用して開催されること、このような民間主催の大会も開催していただくと交流がさらに図られると期待しているところです。



盛り上がった向太陽杯パークゴルフ大会

# 常任委員会の審査

## 建設経済常任委員会

3月12日(木) 午前10時～  
8議案の審査

建設経済常任委員会審査の様子



議案第1号

平成27年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について

### 問

水田農業構造改革推進事業補助金について、転作作物の実施面積は？

### 答

飼料用米は、専用品種で156ヘクタール、主食用米で94ヘクタール、合計250ヘクタール、その他に、米粉用米で1ヘクタール、ホールクroppサイレージで26・7ヘクタール、麦・大豆で6ヘクタール、菜の花・コスモス等の景観形成作物で5ヘクタールを予定している。

### 問

あさひ健康パーク維持管理費について、将来どのような運営方法を考えているのか？

### 答

平成28年度から隣接する健康福祉センターと併せて、指定管理者制度への移行を予定している。

## 文教福祉常任委員会

3月16日(月) 午前10時～  
24議案、陳情1件の審査

文教福祉常任委員会審査の様子



議案第1号

平成27年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について

### 問

資源ごみ集団回収奨励金について、対象となる団体数と回収された量及び交付金額の実績は？

### 答

登録されている団体数は29団体で、平成25年度は、重量9万7,317キログラム、48万6,587円、平成26年度は7万4,897キログラム、37万4,485円を交付した。

### 問

高齢者見守りネットワーク事業について提携先の業種と事業者数の見込みは？

### 答

新聞・牛乳販売、電気、ガス、水道、金融機関、宅配業者、タクシー会社、郵便局、保険会社、コンビニエンスストアなど、50社を予定している。

## 総務常任委員会

3月17日(火) 午前10時～  
13議案の審査

総務常任委員会審査の様子



議案第1号

平成27年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について

### 問

定員適正化計画で、今後40人を削減することのことがだが、年次の計画はどのようになっているのか？

### 答

今後3カ年で、平成27年に6人、28年に7人、29年に7人を削減する計画を立てている。

### 問

災害に強い地域づくり事業について、防災備蓄食料等はどのくらい購入する予定なのか。また、消費期限が到来した物はどのように処分するのか？

### 答

アルファ米や飲料水、毛布、トイレセットなど平成28年までに5,000人分を確保する計画であり、消費期限が近づいたものについては、防災訓練や避難訓練の際、市民に配付している。

**問** 特産品開発事業補助金について、具体的にどのような商品が開発されているのか？

**答** 米粉で作った九十九里サブレ、モツを使用したレトルトカレー、トマトを使用したジャムとジュース、シラスを使用した洋菓子、ハマグリのみまぜご飯及びいいおか貴味メロンのピューレなどが商品化されており、一部はデパートやコンビニエンスストア等で販売されている。

## 審査の結果

委員会付託の8議案について、全員賛成で、原案のとおり可決

委員会の審査終了後、いいおか荘と海岸地域の減災林を視察



旧いいおか荘を視察する建設経済常任委員会委員

議案第8号

平成27年度旭市病院事業会計予算の議決について

**問** キャッシュフローについて、資金期末残高を107億円と見込んでいるが、この資金の運用方法は？

**答** 安全かつ有利な銀行の定期預金や国債で運用している。

## 審査の結果

委員会付託の24議案について、全員賛成で、可決

陳情第1号

慰安婦問題等に関して正しい歴史教育を行うことを求める陳情について

## 意見

小・中学校では、文部科学省から告示されている学習指導要領に基づき、教育・指導を行うべきであり、学習指導要領に掲載されていない慰安婦問題を取り上げて指導することとは行き過ぎではないか。また、公立学校の学習内容に議会が直接介入することは望ましいことではない。

## 審査の結果

賛成者はなく、不採択

**問** 公共施設等総合管理計画策定支援業務委託の具体的な支援内容は？

**答** 年代別を含めた将来の人口予測や公共施設の維持管理費・更新費用の中長期的な経費、充て可能な財源見込みのシミュレーション等の支援をお願いする。

議案第15号

旭市看護学生入学支度金貸付条例の制定について

**問** 返還の免除について、2年間の医療機関への従事の確認方法は？

**答** 今後策定する運用規定の中にしっかりと盛り込んでいきたい。

議案第35号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款を定めることについて

## 問

地方独立行政法人化した場合のメリットは？

**答** 迅速かつ柔軟な対応が可能になることが大きなメリットであり、短期間勤務正規職員を採用など地方公務員法にとられない人事制度の導入、中期目標・中期計画の策定や評価委員会設置による、運営の透明性の確保などがあげられる。

## 審査の結果

議案第1号、議案第14号、議案第21号、議案第35号は賛成多数、その他の議案については、全員賛成で、それぞれ、原案のとおり可決

# 議長の うごき

平成26年12月1日以降  
の議長のうごき

12月

- スターライトファンタジー2  
014点灯式
- 平成26年12月東総地区広域市  
町村圏事務組合議会臨時会・



成人式の受付風景

11月

- 全員協議会
- 平成26年度歳末警戒に係る激  
励会
- 平成27年旭市消防出初式
- 千葉県知事消防表彰受賞祝賀  
会
- 平成27年旭市成人式
- 旭市商工会賀詞交歓会
- 第54回千葉県老人クラブ大会
- 東総地区広域市町村圏事務組  
合議会行政視察研修
- 千葉県北総地区市議会正副議  
長会臨時会
- 地域の安全を支える集い
- NHK公開収録吹奏楽のひび  
き

2月

- 旭市子ども会書きき  
め展表彰式
- 第16回飯岡あんこう  
鍋祭り試食会
- 千葉県市議会議長会  
研修会
- 旭市都市計画審議会  
委員任命書交付式
- 第26回旭市飯岡しお  
さいマラソン大会
- 平成27年3月東総地  
区広域市町村圏事務  
組合議会定例会
- 平成26年度千葉県自



完成した干潟児童クラブ室

- 治体病院経営都市議会協議会  
行政視察
- 千葉県北総東部四市議会正副  
議長会定例会・視察研修
- 明るい社会づくり銚子推進協  
議会「桜の植樹」
- 平成26年度「ちばコラボ大賞  
(千葉県知事賞)」受賞報告会
- 全国広域連携市議会協議会第  
46回総会
- 第10回旭市環境衛生大会
- 平成27年度千葉県東部郵便局  
長会総会
- 水産朝市
- ハートフルミーティングIN  
旭
- 旭市放課後児童健全育成事業  
干潟児童クラブ室新築工事竣

## 議会を傍聴しませんか

第2回定例会が6月8日(月)  
から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴  
することができます。希望さ  
れる方は、市役所3階までお  
いでください。

なお、市役所本庁と各支所  
ロビー、干潟公民館、飯岡福  
祉センター、総合体育館のテ  
レビで、本会議の様様を放映  
しています。

また、市ホームページでは  
議会ライブ中継及び議事録の  
公開をしています。

さらに、議会議録中継(本  
会議)も日程終了後のおおむ  
ね7日程度で視聴することが  
できますので、ぜひご利用く  
ださい。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304  
FAX 62・5384

工式

● 第24回チャリティー合同歌謡  
発表会

● 旭市地域振興交流会  
● 第12回防犯講演会

## 編集後記

議会だより編集委員会では、議会の活動を分かりやすくお伝えしようと、各定例会ごとに編集会議を開催し、改善に努めています。この一年で、紙面にいくつかの変化があったことにお気づきの方もいらっしゃると思います。これからも、市民の皆様と議会をつなぐパイプとして、紙面の充実に努めたいと思います。皆様のご意見等、お待ちしております。

(副委員長 高橋秀典)



旭市議会だより編集委員会

- 委員長 伊藤 保
- 副委員長 高橋 秀典
- 委員 有田 恵子
- 委員 林 晴道